

新^{しん} 緑^{みどり} ニュース



病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町1726-7
TEL. 045-984-2400(代表) FAX. 045-983-4271
地域医療連携室 TEL. 045-984-6216(直通)



3テスラMRIを導入してから

当院でPHILIPS社の3.0テスラMRI装置 Ingenia3.0Tの運用を開始してから、約半年が経過しました。これまでの東芝1.5テスラMRI装置 EXCELART Vantage Powered by Atlasと合わせて2台体制となったことで検査枠が増加し、より多くの検査を行うことが可能となりました。

1ヶ月あたりのMRI検査数は前年と比べて約200件程度増加しており、今後もさらなる増加が見込まれております。大幅な処理能力の向上により、脳卒中に代表される救急患者の受け入れ体制が強化され、紹介患者様も概ねご希望通りに検査予約が可能となりました。

今回導入されました3テスラMRIの特徴として、まず挙げられることは従来の1.5テスラMRIに比べて約2倍のSN比(ノイズの少ない画像)を得られることです。より高画質、高速での撮影が可能となりました。当院で撮像された1.5テスラと3テスラ装置の画像の比較例をお示します。

デジタルコイルによるノイズ低減、高い磁場均一性、様々なアーチファクト低減技術により、質の高い画像をより早く提供できるようになりました。撮像時間が短縮されることで、腹部領域など息止めを必要とする撮影で患者様の負担が軽減されました。装置のトンネル部の開口径は約70cmと広く、検査中に映像や音楽を鑑賞できるMR対応液晶モニターも備えており、これまで検査困難であった体格の大きな方や閉所恐怖症の患者様の対応も可能となっています。静音技術も向上し、撮影中の雑音も従来の装置より低減されています。



メリットばかりでなく、3テスラ装置ならではのデメリットもあります。磁化率アーチファクト、ケミカルシフトアーチファクトの増強は、一部の検査で恩恵があるものの、画像の劣化に繋がり易い特徴です。SAR(生体内の組織電波吸収率)が1.5テスラ装置の4倍に上昇したことで、撮像条件に一定の制約がかかります。検査内容によっては、従来の1.5テスラ装置の方が良い画像が得られるケースもあります。また、これまで1.5テスラ装置までのMRI対応とされていた体内埋め込み金属が、3テスラ装置の強力な磁力下では検査困難となる場合が生じます。

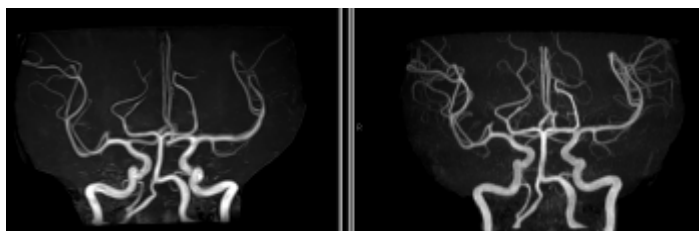
今後新たに取り入れる予定の撮像技術もあり、放射線技師と協力して試行錯誤しながら画像撮影及び解析技術の向上を目指します。新たな3テスラ装置と従来の1.5テスラ装置の特性を考えながら上手く使い分け、より多くの患者様により質の高い医療を提供できるよう一層努力してまいります。

放射線科 副部長 中地 俊介

頭部MRA 3テスラ装置の方が、末梢のより細かい血管を描出できています。

1.5テスラ

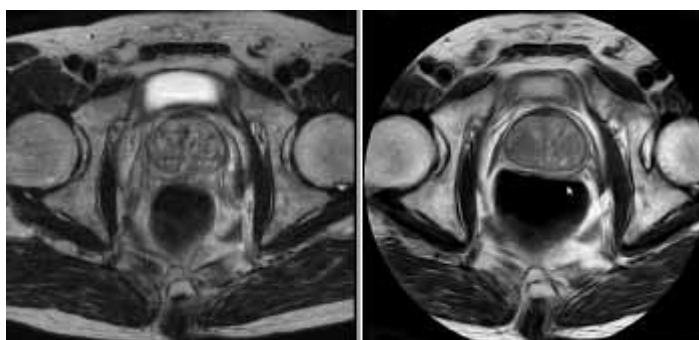
3テスラ



前立腺MRI 3テスラ装置ではMulti-Vaneという体動補正技術により、より鮮明な画像が得られます。

1.5テスラ

3テスラ



画像検査オンライン予約システム導入

地域医療連携の一環として、画像検査オンライン予約システム(TONARI)を7月から導入いたします。

ご参加いただいたクリニックより、CT・MRI・マンモグラフィ・一般撮影(レントゲン)検査を24時間オンラインにて予約することができ、検査結果(画像や検査所見)をクリニックの先生方にオンラインで参照していただくことが可能となります。



6月22日午後、病院内で防災訓練が行われました

日中に震度6の地震が発生、数分後に病棟で火災が発生したという想定で、院内被害状況の確認、災害対策本部の設置、初期消火と患者避難誘導、シーツを使って6階から4階に避難する搬送訓練を、本番さながらに実施しました。

訓練終了後には、緑消防署十日市場消防出張所の方に避難時の搬送方法をご指導いただきました。当院では今後も実践的な訓練を定期的に行い、患者様の安全確保に努めてまいります。



搬送訓練



6月22日に「第1回 地域との連携の会」を開催しました

医療と介護の連携の強化・円滑化を目的に、地域のケアマネージャー30名と病院の医療ソーシャルワーカー・看護師がグループに分かれて語り合いました。私たちはこの交流を通して、ケアマネージャーとの連携の重要性を再認識することができました。今回いただいた貴重なご意見は、今後の患者さまの療養支援・地域連携に生かしてまいります。



シリーズ健康豆知識 野菜、足りていますか？

野菜の1日の目標量は350gですが、平均の摂取量は300g未満と言われています。350gは小鉢5個分に相当するため、毎日小鉢1個分不足していることになります。

野菜はビタミン・ミネラル・食物繊維など体を整える多くの栄養素を含んでいます。低脂肪・低エネルギーで「かさ」もあるため、ダイエットの際は強い味方です。調理の油や塩分に気をつけて、積極的に野菜を取り入れていきましょう。



《簡単小鉢レシピ》

栄養科 主任 古屋 詠子（管理栄養士）

- ・アスパラのとろろ昆布和え・・・茹でたアスパラにとろろ昆布をまぶす
- ・ゴーヤのお浸し・・・スライスして電子レンジで加熱したゴーヤ+かつお節+ポン酢
- ・キャベツの和風コールスロー・・・千切りキャベツ+塩昆布+レモン汁+ゴマ+ごま油3滴



いつでも参加できるイベントにも!

緑すこやか健康講座



参加無料

脳の専門家と金メダリストを講師にお招きし、長寿社会をすこやかに過ごすための“健康”と“病気”についてお話しします。

日時：2018年7月28日（土） 14：00～16：00

場所：緑公会堂（中山駅 徒歩5分）

共催：横浜新緑総合病院／横浜病院 後援：緑区役所 福祉保健課



2018年 みんなの健康講座

主催：横浜新緑総合病院

※参加費無料

7月21日（土）「婦人科診療 ～新緑の日々～」講師 横浜新緑総合病院 婦人科部長 清河 薫

当科では女性の総合診療科を目指し、産科を除く婦人科疾患に特化した診療を行なっています。外来で多くみられる10代から20代の若年層にある生理不順（卵巣機能不全）から幅広い世代でみられる子宮筋腫・子宮内膜症、健診センターと連携している婦人科がん検診など、『婦人科診療－新緑の日々－』と題してご紹介したいと思います。ぜひ、お気軽にご参加ください。



9月15日（土）「腰痛予防について－自宅で行える腰痛予防体操－」講師 リハビリテーション部 係長 桜井 宏樹

会場 十日市場地区センター 2階中会議室（十日市場駅より徒歩5分）

時間 午後1:30～2:30 問合せ 地域医療連携室 045-984-6216（直）045-984-2400



当院の詳細はホームページをご覧ください <http://www.shinmidori.com/>

QRコード→